

信濃川水系上小圏域河川整備計画(矢出沢川)(原案) に関する公聴会での意見及び県の考え方

項目	意見・質問	意見・質問に関する県の回答・方針等
環境	<p>(原案)矢出沢川整備標準横断図について 図面を拝見しますと、現在の既存形状が損なわれるように感じられます。市街地内に流れる河川の中でも上田市の矢出沢川や蛭沢川は長野市や松本市にない風情を持った上田市街地の最後に残る景観財産と云えます。川に沿って、欒や杉等の樹木林・竹林があり、又「高橋」「浮世橋」「柳町」付近の川に接近した街並、北側の遊歩道(「ウォーキングトレイ」と並行に流れる小川、紺屋町付近の浅瀬風景にも捨てがたい風景があります又生態系にも素晴らしさがあり市民の憩いの場としても又観光的資源としても多くの魅力があります。柳町から高橋まで遊歩道が兩岸又片側に現在よりさらに整備されれば上田城を含めた周型散策遊歩道ができ市民・観光客の魅力の一つとなりましょう。この標準横断図が構想の中で実行されると、このような矢出沢川の財産が失われてしまう心配があります。30年に一度あるか無いかの水害であるとのこと。緊急地は急務の施工対策が必要と思いますが、計画対象期間20年とっています。この期に上田市の矢出沢川が将来どうあるべきか市民で議論を行い将来構想のうえで施工計画が行われることを望みます。たとえば国道18号線から旧北国街道の矢出沢川含む全域を特別景観区域に指定し、矢出沢川に面する建物の規制・後退・縮小・美観を図り、また兩岸遊歩道を設け防災対策にも万全を期し、生活用水的存在の矢出沢川を裏的から表的存在に造り挙げていく。こんな構想も考えられます。ただ川巾や川底を大きくするのではなくそこにある歴史や景観を存続させるにはどうしたらよいか充分の思案や検討を重ねてほしいと思います。</p>	<p>信濃川水系上小圏域河川整備計画(矢出沢川)(原案)にお示しいたしました標準横断図は最下流付近における標準横断図であり、「矢出沢川橋下流」と表示させていただきます。</p> <p>なお、横断計画につきましては、ご指摘いただきました点を踏まえまして、今後の具体的な河川改修の設計の中で住民の方々と検討を重ねつつ矢出沢川の魅力が損なわれないよう景観等にも配慮して参りたいと考えております。</p>

項目	意見・質問	意見・質問に関する県の回答・方針等
治水	<p>(1) 工事施工区間を川原田橋からとしているが、川原田橋から下流千曲川合流部までの区間を入れていない理由はどうしてか。その間の流下能力は、計算上、左右岸ともおよそ800m³/sあるようにはなっているが、現状は、川原部への土砂の堆積、川幅の減少、川床や土手に繁茂するアカシアやヤナギ等により、実際の流下能力の数値はもっと小さくなっているはずである。また、大雨時、立木に流下物が引っかかり、流路をふさぐ可能性も考えられる。矢出沢川の出口部の水はけを万全にする工事を強く要望するものである。</p>	<p>(1) 堤防、護岸等、河川管理施設の維持や流下能力を確保するための河床掘削、立木の除去につきましては、一級河川矢出沢川全域におきまして実施して参ります。ご指摘の千曲川との合流付近につきましても、正常な河川維持に努めて参ります。</p>
	<p>(2) 矢出沢川と千曲川の合流点には、土砂の堆積により中州ができており、立木も生えていいる。(1)とも関連し、矢出沢川出口部の治水対策として、合流部の水はけを良くすることが必要だと考える。国の管理部分ではあるが、改修の働きかけを強く要望するものである。また、アクアプラザ南側にある水門設置に伴い施工した河床上昇や川のせき止め工事により、合流部から下流200m程の区間の大雨時の流下能力の減少も矢出沢川の水はけに大きな悪影響を及ぼしていることにも是非問題意識を持っていただきたい。</p>	<p>(2)国が管理する部分へのご意見につきましては、国土交通省千曲河川事務所へ伝えて参ります。 また、矢出沢川を管理する県といたしましては、合流点付近の状況について、常に注意を払い管理して参ります。</p>
	<p>(3) 雨水貯留施設の整備や雨水の保水、遊水機能の保全、向上等の対策を強く要望するものです。その具体的なビジョンや計画等を提示・お聞かせいただきたい。</p>	<p>(3) 矢出沢川は、中・下流域が人口集中地区であるという流域特性から、雨水流出抑制などの流域対策の重要性が高いと考えております。 上田市では、雨水流出を抑制するための排水路の整備や各戸の雨水貯留施設の設置を進めており、これらの施策と連携して、雨水貯留施設の整備や、適正な土地利用の誘導等による雨水の保水、遊水機能の保全、向上等の流域対策を行って参ります。</p>